



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主の皆様の声をお聞かせください

当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿冊(図書カード500円)を差し上げさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

いいかぶ 検索

空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯端末からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯端末をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

2015 Business Report

第70期 報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

証券コード 5820





企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

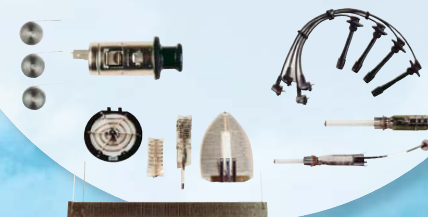
ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様と共に歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、更なる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからは製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第70期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

塚本聡一郎



Q 事業の概況を教えてください

A 当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年4月からの消費税率の引き上げを主因として、前半は急速に景気が落ち込みましたが、後半は緩やかな回復基調が続きました。

個人消費は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動で大きく落ち込んだ後、夏場以降は緩やかに持ち直し、また設備投資については、企業収益の改善を背景に回復基調を維持しています。

一方、為替レートは、対ドルでは平成26年3月末の103円台から、米国の量的緩和長期化観測を背景に日米金利差が縮小したことなどから平成26年8月末までに102円前後で推移し、その後、日本銀行が追加緩和を決定したこと、米国の早期利上げ観測が高まったことをきっかけとして円安が加速しました。LME銅相場は、低

下傾向でありましたが、国内銅建値は円安の影響を受け、年間上昇率は104%となりました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の2年目として、前年に実施した製販統合型事業部制組織の利点を発揮させ、製品の開発・改良や市場開拓等に鋭意取り組んでおります。

当連結会計年度の売上高は9,413百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

利益面につきましては、電線事業においては前年比増加したものの、ポリマテック事業および電熱線事業で減益となり、グループ全体での営業利益は107百万円(前年同期比33.2%減)となりました。経常利益は、急速な円安により、海外子会社で為替差益が70百万円発生したことなどから157百万円(前年同期比27.8%減)となりました。また当期純利益は、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う法人税等調整額を計上した結果、274百万円(前年同期比51.9%増)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

A 消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動が一巡する中、原油安に伴う消費者物価上昇率の低下が家計の実質購買力を押し上げ個人消費の回復を後押しすること、企業収益の改善が設備投資の増加に寄与することなどから、景気は拡大基調に推移することが予想されます。

電線事業においては、年度当初の売上は低水準で推移すると予想されますが、その後、公共事業が高水準で維持することと、設備投資は企業収益の改善を背景に堅調に推移していくと見込まれます。一方、利益面は低価格製品への需要シフトが引き続き進行することから、厳しい状況で推移すると思われます。このような状況の中、国内外における新規案件の獲得やグループ全体での最適生産体制の追求等による原価の低減、顧客ニーズを踏まえた製品開発・改良および海外市場の開拓等に取り組む、業績向上に努めてまいります。

ポリマテック事業においては、前年度にみられた住宅建設需要の反動減から、売上・利益とも厳しい状況が継続すると予想されます。このような状況を踏まえ、拡販案件の獲得、新規案件の開発速度を速め売上の積み上げを図るとともに、業務の効率化や原価低減にも取り組み、業績の回復・向上に努めてまいります。

電熱線事業においては、提案営業の推進により、主力である白物家電以外の用途開拓に努め、営業基盤の拡充を図ってまいります。生産面では、品質の維持、向上により、他社に負けない優位性の確保に努めます。

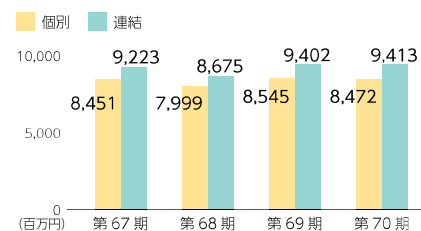
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

財務ハイライト

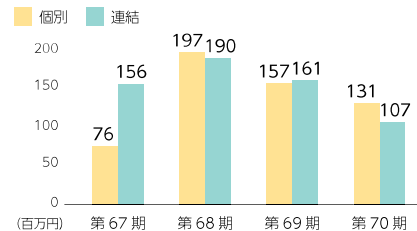
Financial Highlights

売上高



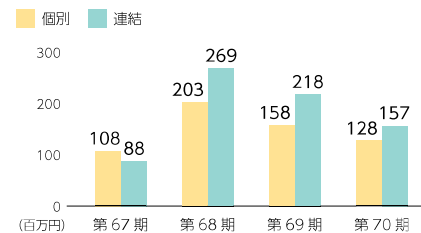
電線事業および電熱線事業においては増収、ポリマテック事業においては減収となった結果、個別は減収、連結は増収となりました。

営業利益



電線事業においては増益となったものの、ポリマテック事業および電熱線事業で減益となり、グループ全体では前年同期に比べ減益となりました。

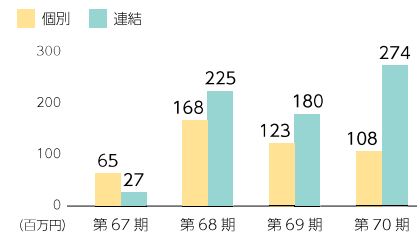
経常利益



急速な円安により、海外子会社で為替差益が発生したことから、前年同期に比べ減益となりました。

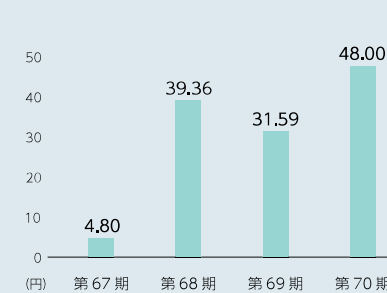
(注) 第68期より遡及処理後の数字を記載しております。

当期純利益

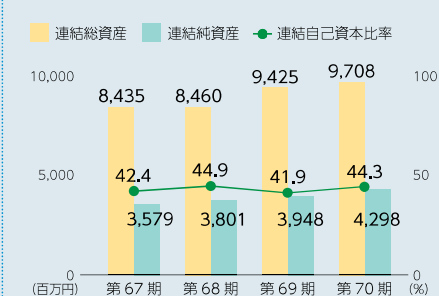


連結において、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う法人税等調整額を計上した結果、前年同期に比べ増益となりました。

連結1株当たり当期純利益



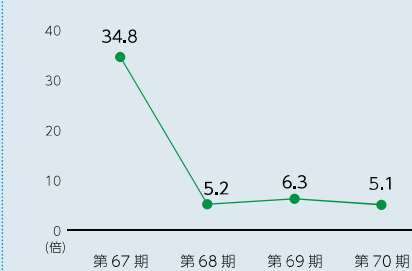
連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率 (ROE)



連結株価収益率 (PER)



(注) 第68期より遡及処理後の数字を記載しております。

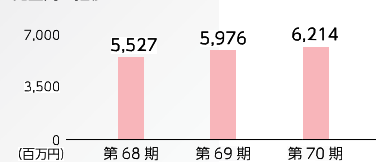
事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



商品紹介

業界トップシェアを誇る 【キャプタイヤケーブル】

600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャプタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャプタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

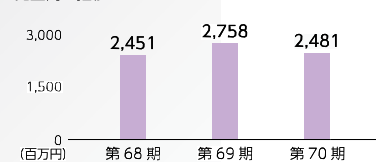
当期の活動報告

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共工事の増加を背景に、ゴム電線、プラスチック電線共に前年比増加基調で推移しました。売上高は、昨年1月に発売しました新製品の寄与もあり、6,214百万円となりました。利益面につきましては、販売量の増加に伴う増産効果と適正価格での販売に注力しましたが、円安により海外子会社からの輸入製品の利益低下を吸収し、営業利益は171百万円となりました。

ポリマテック事業



売上高の推移



(注) 第68期の数字は、高機能チューブ関連商品とLED関連商品を「ポリマテック事業」に統合する前の数字であります。

商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

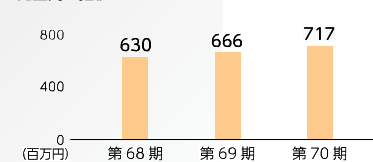
当期の活動報告

当事業は、消費税引き上げ後の住宅着工件数の落ち込み等の影響を大きく受け、全体の売上高は2,481百万円となりました。利益面につきましては、国内売上の減少や円安による材料価格の上昇等により、営業損失43百万円となりました。

電熱線事業



売上高の推移



商品紹介

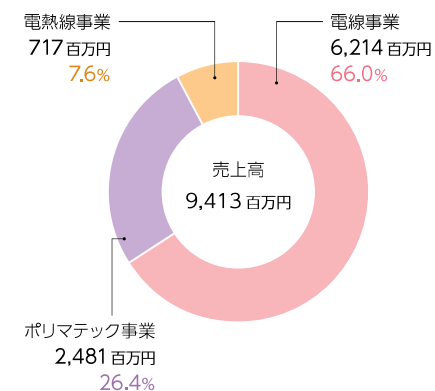
伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこの家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品の他、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

当期の活動報告

当事業は、当期に入り、海外商社筋からニッケル価格の上昇を背景とするニッケル系鋼種の受注が増加したことから、売上高は717百万円となりました。しかし、利益面では、付加価値の高い極細線の販売が減少したことと、費用増加により、営業損失20百万円となりました。

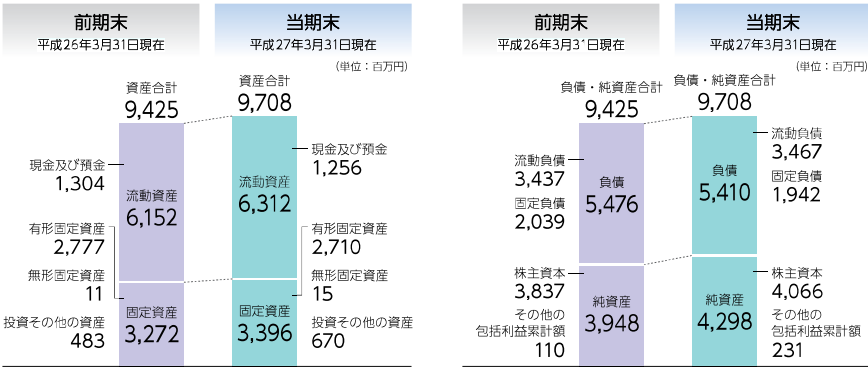
売上高構成比



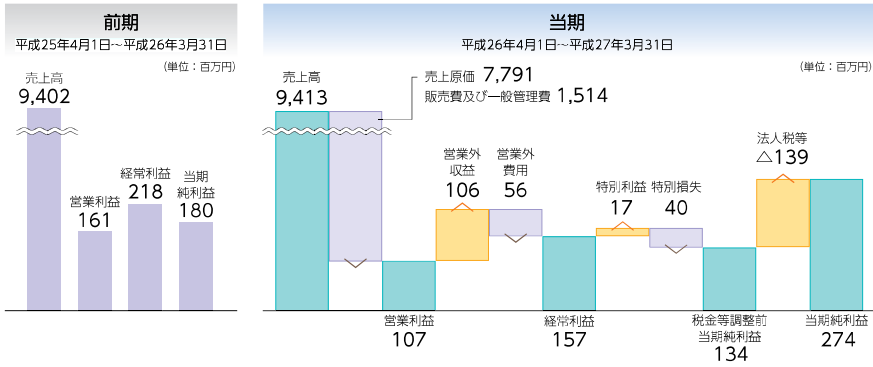
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

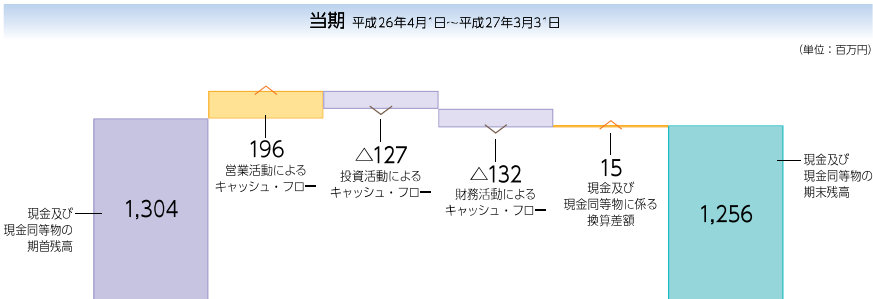
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



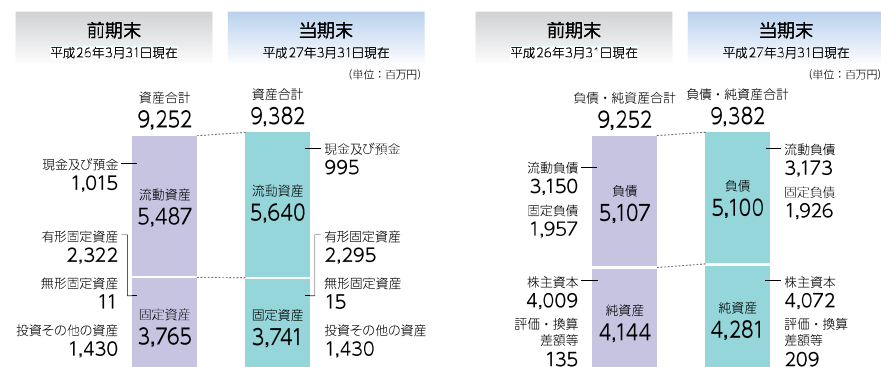
ポイント解説

- 総資産額
前連結会計年度末に比べ、2億82百万円増加し、97億8百万円となりました。
これは主に、商品及び製品と投資有価証券の増加があったことによるものです。
- 負債総額
前連結会計年度末に比べ、66百万円減少し、54億10百万円となりました。
これは主に、短期借入金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額
前連結会計年度末に比べ、3億49百万円増加し、42億98百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

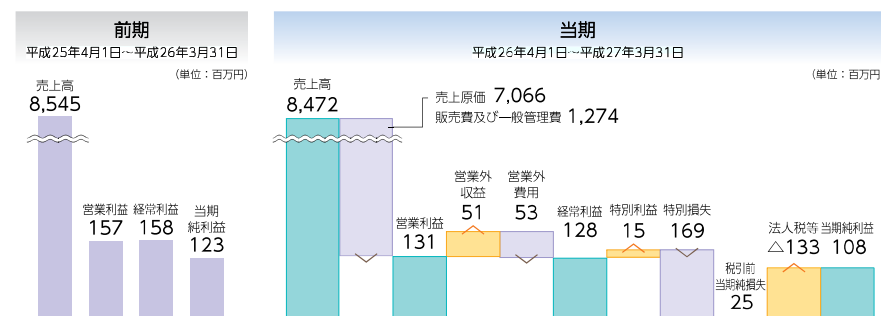
個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

■ 貸借対照表



■ 損益計算書



株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

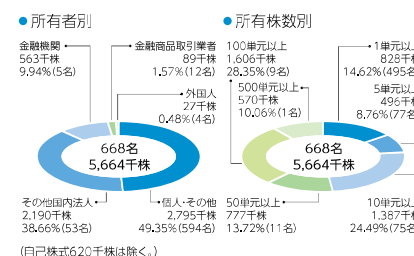
- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,713,004株
(自己株式620,272株を除く。)

- 株主数 869名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	570,000	9.98
スリースター有限会社	463,150	8.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	200,750	3.51
津田電線株式会社	193,261	3.38
加藤清行	151,000	2.64
三井住友信託銀行株式会社	147,000	2.57
日本証券金融株式会社	123,000	2.15
西崎ひとみ	115,229	2.02
三ツ星従業員持株会	114,425	2.00
三京化成株式会社	100,000	1.75

(注) 1. 上記のほか、当社が自己株式620,272株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (平成27年6月24日現在)

代表取締役社長	塚 本 聡一郎	執行役員	岡 橋 一 明
取締役会長(非常勤)	塚 本 洋 一	執行役員	金 城 安 弘
専務取締役	競 良 一	執行役員	松 山 元
執行役員			
取締役(社外)	村 角 末 義	執行役員	片 岡 潤 次
常勤監査役	辻 田 光 博		
監査役(社外)	中 尾 巧		
監査役(社外)	辻 義 夫		

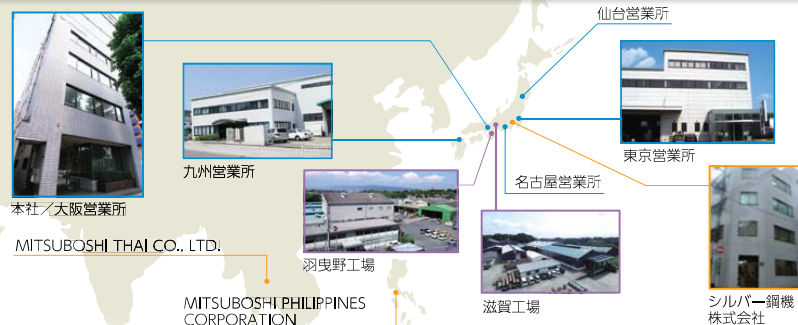
従業員の状況(当社グループ) (平成27年3月31日現在)

228名(109名)

従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号 TEL 06(6762)6953(代表)
大 阪 営 業 所	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号 (電 線 事 業 部) TEL 06(6762)6931(代表) (ポリマテック事業部) TEL 06(6762)6934(代表)
東 京 営 業 所	〒271-0068 千葉県松戸市古ヶ崎二丁目3207-2 (電 線 事 業 部) TEL 047(360)2821(代表) (ポリマテック事業部) TEL 047(360)2901(代表)
九 州 営 業 所	〒815-0081 福岡市南区那の川一丁目9番19号 TEL 092(526)2615(代表)
仙 台 営 業 所	〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代三丁目5番12号 桜木ビル1階 TEL 022(239)1271(代表)
名古屋営業所	〒465-0095 名古屋市中東区高社1-253 一社プラザ4階402号室 TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場	〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柑子1061-3 TEL 0748(86)6104(代表)
羽 曳 野 工 場	〒583-0867 大阪府羽曳野市河原城534番地 TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社	〒140-0014 東京都品川区大井1-42-2 シルバービル TEL 03(3773)9481(代表)
-----	--

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国)	LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE INDUSTRIAL ESTATE BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS, CAVITE,PHILIPPINES4114
------------	---

MITSUBOSHI THAI CO.,LTD.

(タイ王国)	43/2MOON 4, ROJANA INDUSTRIAL PARK, TAMBOL BAANCHANG,AMPHUR U-THAI AYUTTHAYA13210, THE KINGDOM OF THAILAND
--------	--

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/ index.html

公告方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.kk-mitsuboshi.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
証券コード	5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。